

令和5年度 総合型選抜 課題探究型 総合考査【児童スポーツ教育コース】

試験時間：60分

.....

1970年代以降ヨーロッパを中心として、国籍や階級、民族や人種、性や年齢、障がいの区別なく、万人がスポーツと関わる権利を持つことを相互に承認する「Sports for All」（スポーツ・フォー・オール：みんなのスポーツ）運動が広まり、現在のわが国における“生涯スポーツ”や“豊かなスポーツライフ”の概念を形成する基盤となっている。

こうした中、令和4（2022）年に定められた「第3期『スポーツ基本計画』」では、政策目標の1つとして、「多様な主体におけるスポーツの機会創出：国民のスポーツ実施率を向上させ、日々の生活の中で一人一人がスポーツの価値を享受できる社会を構築する」ことが示された。

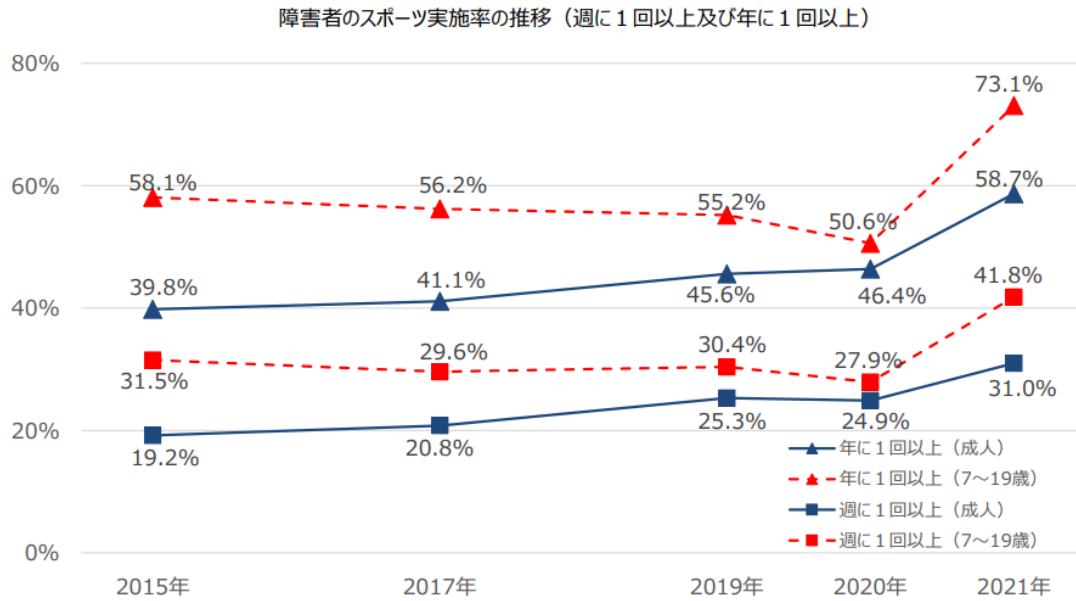
問1. <図1>～<図3>から、「Sports for All」や「多様な主体におけるスポーツの機会創出」（第3期スポーツ基本計画に示された政策目標）に対する子どものスポーツ参加の現状と課題について、読み取った内容を整理し、説明しなさい。

（300字以上 400字以内。横書き）

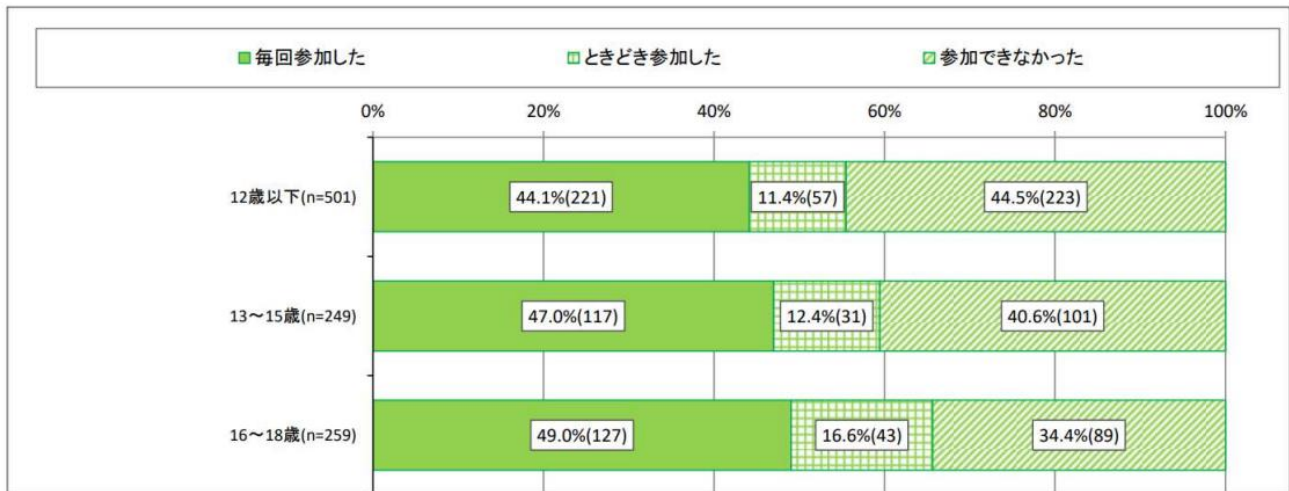
問2. こうした課題に対して、小学校や中学校の体育授業ではどのような取り組みが重要となるか考え、<図1>～<図3>から読み取れることを参考に具体的に述べなさい。

（300字以上 400字以内。横書き）

- 令和3年度の障害者の週1回以上のスポーツ実施率は、成人で31.0%、若年層で41.8%。
- 過去に1年に1回もスポーツを実施していない者の割合は、成人で41.3%、若年層で26.9%。



<図1> 障害者のスポーツ実施率の推移

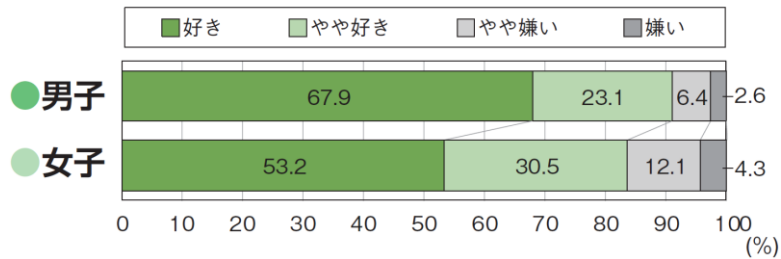


<図2> 障害のある児童生徒の体育の授業の参加状況

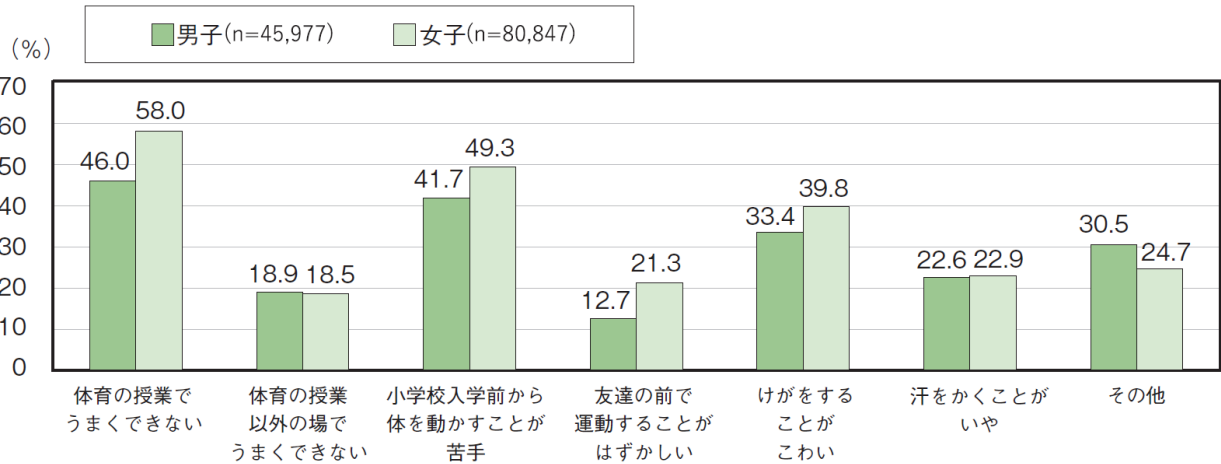
出典：「第3期スポーツ基本計画参考データ集」（スポーツ庁）

https://www.mext.go.jp/sports/content/000021299_20220316_5.pdf

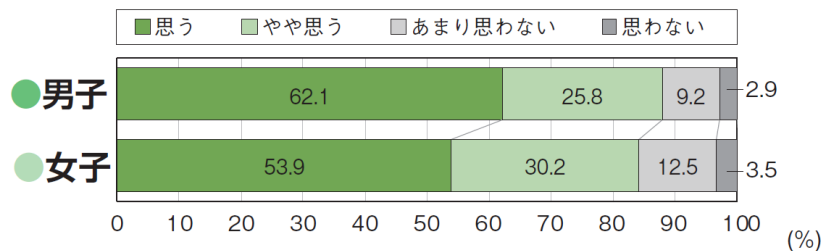
① 運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか？



② ①で「やや嫌い」または「嫌い」と回答した理由は何ですか？

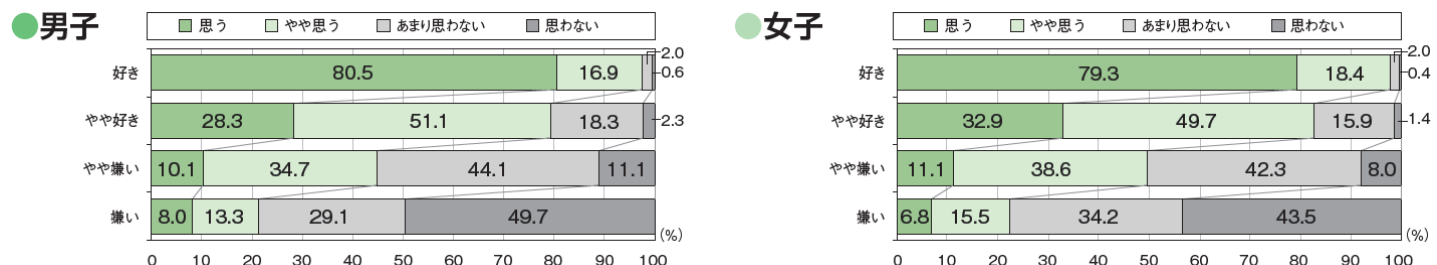


③ 中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか？



④ 運動やスポーツの好き嫌い（①）と卒業後の運動への意欲（③）のクロス集計

※④は例えば運動やスポーツが「好き」と答えた児童のうち、卒業後に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思う児童が何%いるかといったデータを示している。



<図 3> ①～④運動やスポーツに対する意識調査の結果（小学校）

※上の①～④の図は小学生の運動やスポーツに対する意識調査の結果を示しているが、中学生生徒でも同様の傾向である。

出典：「令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果」（スポーツ庁）

https://www.mext.go.jp/sports/content/20220118-spt_sseisaku02-000019583_4.pdf